

■ 第7回 新潟駅万代広場等整備検討委員会

日時：平成2年9月4日（金）10：00～

会場：新潟市役所本館6階 第4委員会室

（司 会）

本日は、ご多忙のところご出席いただきまして誠にありがとうございます。ただいまから第7回新潟駅万代広場等整備検討委員会を開催いたします。

私は本日の進行役を務めます新潟市新潟駅周辺事務所の中澤と申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、本日の委員の皆様の出席状況でございますが、お手元の出席者名簿に代えさせていただきます。なお、出席者名簿で平山委員の所属、役職の欄でございますが、新潟県建築士会新潟支部支部長とお伝えしておりますが、支部長の役職につきましては削除していただくよう訂正をお願いいたします。大変申し訳ございませんでした。

続きまして、本日の配付資料の確認をお願いいたします。配付資料といたしましては、次第、出席者名簿、座席表、本委員会の開催要項がA4でそれぞれ1枚ずつです。あと、資料右上に資料番号が振ってございますが、資料1「（仮称）新潟駅万代広場整備計画（案）」、資料2「パブリックコメント手続きの実施計画について」、資料3「今後の進め方について」です。さらに同じく、資料右上に参考資料と振っております資料で参考資料1「新潟駅及び駅前広場における将来の歩行者動線」、参考資料2「万代口改札の移転と万代口駅舎惜別プロモーションについて」です。あと、別添で道路政策ビジョンの冊子もお配りしてございます。ご確認をお願いいたします。過不足等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

次に、事務局からのお願いでございます。このあと意見交換の場がございますが、ご発言の際には、皆様の前に設置してありますマイクのご使用をお願いいたします。使用方法につきましては、マイクの台座の部分にスイッチがございます。スイッチを押していただくと、マイクのランプが点灯しスイッチオンの状態となりますので、その後にご発言をお願いいたします。ご発言が終わりましたら再びスイッチを押していただき、マイクをオフの状態にしていただきたくお願いいたします。

本委員会の開会にあたり、新潟市都市政策部長の柳田よりご挨拶を申し上げます。

（都市政策部長）

本日はお忙しい中、委員の皆様にはご出席を賜りまして誠にありがとうございます。改めまして、昨年度より都市政策部長を務めさせていただいております柳田と申します。よろし

くお願いいたします。皆様には、日ごろより本市が進めております都市政策行政について、ご理解、またご協力を賜っておりますことに心より感謝を申し上げる次第でございます。

さて、本検討委員会につきましては、平成 29 年度に 4 回開催し、皆様から貴重なご意見をいただきながら万代広場の将来の方向性について、まちと駅のつながり、広がり、一体感、また人、公共交通中心の空間形成、分かりやすさ、使いやすさ、新潟らしさの創出を踏まえながら整備を進めることとして取りまとめを行わせていただいたところでもございます。その後、この方向性を踏まえながら、基本設計を進め、計画の具体化を図るなかで関係機関との協議や関係者との意見交換を行い、当初計画のコンセプトを承継しつつ、広場の役割と広域合併を経た新潟らしさの検討、広場からまちへのつながり、タクシーと自家用車の動線分離をポイントとして整備計画の見直しを行いました。第 5 回、第 6 回の委員会につきましては、新型コロナの影響により書面での開催となりましたが、整備計画の見直しについて、皆様からご意見をいただくとともに、その後パブリックコメントを実施し、市民の皆様からもご意見をいただいたところでございます。

本日は、パブリックコメントの実施結果をご報告させていただき、市の対応方針や今後の進め方などについて委員の皆様からご意見をいただき、今後の詳細な設計を参考とさせていただきたいと考えております。つきましては、本会の趣旨をお汲み取りいただきまして、お力添えとご協力をお願い申し上げまして、甚だ簡単ではございますが開会の挨拶とさせていただきます。今回よろしくをお願いいたします。

(司 会)

続きまして、次第 2、要綱の改定について、事務局よりご報告をさせていただきます。配付資料 4 枚目の要綱の改定案をご覧ください。要綱の改定につきましては、人事異動に伴いまして、今回、新潟国道事務所長の柘津知広様より委員に就任していただいておりますので、資料裏面の別表において変更したものとなっております。

次第 3、議事でございます。以降につきましては、佐野委員長から進行をお願いいたします。

(委員長)

皆さん、おはようございます。よろしくをお願いいたします。

次第 3、議事に入ります。(1) (仮称)新潟駅万代広場整備計画(案)について、(2) (仮称)新潟駅万代広場整備計画(案)市民提出意見について、一括して事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

新潟駅周辺整備事務所の鈴木と申します。よろしくをお願いいたします。私からは、議事 1、

議事2を一括でご説明させていただきます。

はじめに、議事1、（仮称）新潟駅万代広場整備計画（案）について、資料1をもちまして説明をさせていただきます。資料1につきましては、7月に実施しましたパブリックコメントの資料になっておりまして、委員の皆様には6月に開催した第6回の書面開催でしたけれども、そこで確認いただいたものですので、再確認ということで簡単にご説明をさせていただきます。

3ページ目、4ページ目になりますが、こちらが新潟駅周辺整備事業の事業概要ですとかこれまでの経緯、今後のスケジュールを記載しております。万代広場につきましては令和5年度頃の供用開始を目標に現在、調査等を進めているところでございます。

次に、5ページになります。広場整備計画の基本コンセプトということで、『人、交通、自然が気持ちよく循環する「都市の庭」』という、当初コンペのときの基本コンセプトを継承しつつ、広場の整備を進めていくことを記載しております。

次に6ページから10ページになりますが、こちらが、新潟都心の都市デザインということで、新潟の都市デザインというものは今後、150年の都心のまちづくりを描いたものであり、この中で新潟駅は都心軸の起点となっていることから、万代広場においても基本コンセプトを継承しつつ、都市デザインの理念も踏まえながら整備計画案を検討してきましたということを記載しております。

続きまして、11ページから13ページになります。こちらが、本検討委員会についてになります。平成29年度に設立した本委員会では、当初コンペからは15年ほど経過して、時代の変化ですとか駅前広場の役割の変化に対応するために専門的、学術的見地からご意見をいただきながら、万代広場の将来整備の方向性を取りまとめました。11ページと12ページにその方向性を記載しておりますが、空間形成と機能のポイントとしまして、まちと駅のつながり、広がり、一体感と公共交通中心の空間形成、分かりやすさ、使いやすさ、南北の役割分担の4項目を挙げております。また、中央広場の新潟らしさ、利活用につきましては新潟の豊かな自然を強調する都市の庭を作り出し、新潟を印象づけるモニュメンタルな空間とする。広場で新潟の酒ですとか食を展開するなど、市民が自由に使いこなすことによって時間の経過とともに新たな新潟らしさを創造していく。官民連携による利活用が重要といったことを記載しております。

13ページにつきましては、将来の整備の方向性を図に表したものになっております。

14ページ以降につきましては、万代広場の基本設計のポイントになります。平成30年度から令和元年度にかけては、本検討委員会で取りまとめた将来整備の方向性を基に、関係機関との協議ですとか関係者との意見交換を行いながら基本設計を進める中で、整備計画の

一部の見直しを行いました。基本設計見直しのポイントとしまして、広場の役割と新潟らしさの検討、広場からまちへのつながり、バス、タクシー、自家用車の動線分離の三つを掲げております。

15 ページ目になります。広場の役割と新潟らしさの検討ということで、新潟市8区の水と緑のつながりをテーマとしまして、ペDESTリアンデッキからの眺めで新潟らしさを演出するということを記載しております。

16 ページになりますが、広場からまちへのつながりということで、雨や雪に濡れず、駅からまちへと歩き出す快適な歩行空間を確保するということ。

17 ページ目には、バス、タクシー、自家用車の動線分離ということでそれぞれの専用動線を確保するというを記載しております。

18 ページになりますが、整備計画全体のイメージスケッチを書いております。19 ページ目以降は、いろいろな視点から見たイメージスケッチになります。日中の時間帯のほか、夜のライトアップしたときのイメージも記載しております。

最後の29ページになりますが、整備スケジュールということで記載をしております。

以上、議事1、（仮称）新潟駅万代広場整備計画（案）について、おさらい的な形で簡単に説明をさせていただきました。

続きまして、議事2、（仮称）新潟駅万代広場整備計画（案）に対するパブリックコメント手続きの実施結果についてご説明いたします。資料2をご覧ください。はじめに、1枚目のA4縦の資料をご覧ください。パブリックコメントの意見募集期間につきましては7月1日から31日までの1か月間で、周知方法については市長記者会見とか市報やホームページなどで行いました。意見の提出状況ですが、提出者数は43名で意見数は177件となっております。

資料2の2枚目、A3横のパブリックコメントに寄せられたご意見の概要および市の考え方（概要版）をご覧ください。こちらは、いただいたご意見を八つに分類した概要版になっております。はじめに、一項目目につきましては新潟らしさについてということで、全体の約25件程度意見をいただいております。意見の概要ですが、シンボリックなモニュメント、巨大なモニュメントを設置して新潟らしさを表現する、見直し前のデザインがいい、里山はどこにでもあり新潟に里山というイメージはない、新潟らしさについて再考すべき、現バスターミナルを残すことで新潟らしさを創出できるのではないかといったご意見をいただいております。

それに対する市の考え方として、表の右側になりますが、広場の新潟らしさについてはシンボリックなオブジェを配置するのではなく、シェルターですとか植栽により広場のコンセ

プトである新潟の豊かな自然を象徴する都市の庭をつくり出し、新潟を印象づけるモニュメンタルな空間とすることとともに、この広場で新潟の酒、食を用いたイベントを展開するなど、市民の皆様が自由に広場を使うことによって、時間の経過とともに新たな新潟らしさを想像していくこととしております。今後、当整備計画案を基本として詳細に設計を進めていきますが、さらに新潟らしさを表現できるよう検討していきます。

なお、現在のバスターミナル上屋は占用物件であり、老朽化も進んでいることから、広場の整備に伴い占用者が撤去する予定となっているといった市の考え方にしてございます。

続きまして、二つ目の項目として意匠について。20 件程度でした。意見の概要としては、シェルターの大きさですとか形、色に関するもの、ペDESTリアンデッキからの眺望を魅力的なものにしてほしいといったご意見をいただいております。市の考え方としましては、基本的なデザインについては当整備計画案を基本として、今後、詳細な設計を進めていきますが、機能性や技術的な検討も踏まえ、より魅力的な施設となるように色合いや形状を検討していきますといった考え方を示してございます。

三つ目になりますが、歩行者通行の環境について、こちらが一番多くて 30 件程度となっております。ご意見の概要としまして、デザインより機能性を重視してほしいです、悪天候のときを考慮したシェルターの大きさ等に関するもの、または広場中央部西側にも昇降設備が必要、植栽が歩行者動線を遮らないようにしてほしい、バリアフリーに十分考慮してほしい、駅舎内の動線を教えてほしいといったものがありました。

市の考え方としましては、広場全体を屋根で覆うことは開放感やコスト等の面から採用しない考えとなっておりますが、歩行空間についてはデザインだけでなく機能性も重視して、天候が悪いときにもできるだけ快適に通行できるようにシェルターや防風壁の幅、形状等について、技術的な検討や経済性も踏まえた詳細な設計を進めていきます。さらに、だれもが安心安全に通行できるようバリアフリーに十分配慮するとともに、植栽が歩行者動線を遮らないような配置計画とします。

また、駅舎内の動線については鉄道事業者が検討しているところですが、広場中央部西側への昇降施設設置については、駅舎の中で代替機能が確保できる予定といった市の考え方となっております。

続きまして、裏面になります。四つ目の項目として、ペDESTリアンデッキについてになります。こちらは南北方向のペDESTリアンデッキのこととなっております。こちらは、10 件程度となっております。なぜ規模を縮小したのか、当初計画のとおり整備すべきといったご意見をいただいております。市の考え方としましては、南北方向のペDESTリアンデッキにつきましては、自動車交通量の変化などを踏まえ、広場内の主動線を地上レベルにすると

いう計画の見直しを行いました。その際には市民ワークショップを開催し、地上部が主動線となることにより広場を利用する方が増加し、賑わいが向上するほか、デッキがないことで開放的な広場空間が形成されるというメリットのほか、2階レベルでの移動ができなくなるというデメリットも含め、市民の皆様と意見交換を行い、南北方向のデッキは周辺の開発動向を見ながら段階的に整備を行う方針としました。

なお、現段階では、南北方向のペDESTリアンデッキを整備する予定としておりませんが、駅周辺のまちづくりや駅からまちへのつながりの観点を踏まえ、引き続き周辺の開発動向を注視しつつ、民間と連携しながら検討していきたいと考えているといった市の考え方となっています。

五つ目になりますが、案内サインについて、こちらは10件程度になっております。意見の概要としましては、市民、障がい者、観光客、外国人など、だれにでも分かりやすいサインの整備が必要、交通ターミナルとしての機能を充実させるため、様々な交通を複合的に活用できるシステムが必要といったご意見をいただいております。

市の考え方としましては、案内サイン等の具体的な計画については今後、詳細な設計の中で検討していきますが、障がい者や外国人等だれにでも分かりやすい案内となるよう配慮します。また、交通結節点として各移動手段の利用や、乗り換え利便性が向上するようにICT等を活用した各種サービスの提供についても関係機関と連携して別途検討していくといった考え方を示しております。

六つ目、維持管理については5件程度になっております。植栽や芝生の手入れの方法はどうするのかといったご意見をいただいております。市の考え方としましては、具体的な施設の維持管理方法については今後、詳細についての中で検討していきますが、維持管理のしやすさも考慮した施設計画とすることでランニングコストの軽減を図っていきます。また、広場の利活用に加えて、維持管理についても官民連携で運営していけるようなエリアマネジメント組織の立ち上げ等についても別途検討を進めていくといった考え方となっています。

七つ目、ライトアップについては5件程度でした。新潟をイメージできる色を使ってほしいですとか、ペDESTリアンデッキ上から見る場合だけでなく、広場側から見ることも想定すべきといったご意見をいただいております。

市の考え方としまして、ライトアップの具体的な整備内容や運用方法については照明としての機能性やデザイン性、また各視点からの見え方や積雪時の対応等を考慮して今後、詳細の設計の中で検討していくといった考え方を示しております。

最後に、その他になります。70件程度ご意見をいただいております。主な内容としましては、自転車に乗って通行できるようにすべき、車両検知式の自動ドアをバス乗降場に整備

してほしい、バス、タクシー、自家用車それぞれ渋滞が懸念される、トイレを広場に整備すべき、新しい生活様式に考慮した計画とすべきなどといったご意見をいただいております。

市の考え方としましては、広場内は自転車を降りて、いわゆる押しチャリで通行していただく計画です。現在、バス乗降場に車両検知式の自動ドアを整備する予定はありません。今後、詳細の設計の中でバス、タクシー、自家用車が渋滞しないよう、さらに検証を行うとともにトイレの設置の是非についても検討していきます。また、広場計画においてはコスト面も考慮するとともに、新しい生活様式についてどこまで考慮した計画とすべきかも踏まえ、今後検討していくといった市の考え方を示しております。

議論の参考としていただきたく、参考資料1をご覧ください。A3横の新潟駅および新潟駅前広場における将来の歩行者動線になります。左側が1階レベル、右側が2階レベルの図になっております。左側の1階レベルでは、赤矢印が歩行者動線となっており、駅直下のバスターミナルの部分で24時間南北の通行が可能となります。また、黄緑色の部分の箇所は店舗内通路ということになりますが、店舗の営業時間は南北の通行が可能となります。なお、図中にある赤色の三角印、こちらは店舗の出入り口を想定しております。

なお、①、②とありますのが、昇降設備を表しております、この内ピンク色で着色してある箇所がエレベーターがついている昇降設備となっております。右側が、2階レベルの図になります。青い矢印が歩行者動線となります。真ん中に改札内とありますが、その左右両脇が南北通行可能なコンコースとなっております。

なお、⑨の昇降設備、改札内から見た右上になりますが、こちらが先ほどの資料2-3歩行者通行の環境に関する市の考え方でありました広場中央部西側の昇降設備の代替機能となります。

議事2の最後になります。情報提供で参考程度になりますが、参考資料2をご覧ください。万代広場の本格的な整備に入る前に現在、駅舎の撤去を徐々に始めてございます。今ある万代口の改札につきましては、撤去工事に支障をきたしますので、秋頃から移転する予定になっております。1枚目は周知のポスターになっております。

2枚目につきましては、この駅舎の撤去に伴いまして、JRと本市共催で、「ありがとう万代口駅舎惜別プロモーション」を実施する予定であります。9月7日より、新潟駅思い出写真展を開催する予定です。駅にまつわる写真を募集しておりますので、皆様からも周りの方にもお知らせしていただくと幸いです。

(委員長)

ありがとうございました。ただいまのご説明にありました内容につきまして、ご質問やご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

では、私から。資料2でそれぞれの項目で、それぞれのご意見が出ているのですが、例えば新潟らしさ 25 件というのは、ほぼこの五つに書かれているものなのですか。あとは、それぞれがどれくらいのご意見があったか分かれば教えていただきたいです。

(事務局)

内訳の件数は今、集計していなかったのですが、ほぼ 25 件の内容がこの中に入っているという状況です。

(委員長)

分かりました。それぞれが大体どれくらいかみたいなのは分かりますか。多い、少ないはあると思うのですが。

(事務局)

一番多いのは、やはり皆さん、金沢の鼓門のようなイメージを持っておられると思うのですが、そういうものが数件、一番多かったのかと思います。あと、新潟らしさで前のイメージがいいというものも多い。あとは里山関係。この順番が多い順番と見ていただけると。あと、バスターミナルはお1人くらいだったかと思います。

(委員長)

ありがとうございます。

何か、ご質問やご意見ございましたら。

(阿部委員)

商工会議所の阿部です。教えていただきたいです。資料2の歩行者通路の環境についてという枠の中で二つ目にシェルターの幅が狭いという項目があって、括弧して南口広場の教訓を生かしてほしいというものがあるのですが、私は南口広場の教訓が分からないので、どんな教訓なのかをご説明いただけたらと思います。

(事務局)

これは、意見の中で、南口広場のシェルターは大体幅が 2.5、3メートル弱だと思います。どうしても風に吹き込まれて、特に学生で通っておられた方の方ですけれども、少し風が吹くとすぐ濡れてしまうということでもっと幅を広げてもらいたいというようなイメージで、私が読んだ中ではそんなイメージだったと思います。

私は南口を利用するのですけれども、たしかに雨が降ると濡れてしまうという状況がありますので、万代広場のほうはある程度幅を広げたいと考えております。

(阿部委員)

ありがとうございます。

(委員長)

ありがとうございました。ほかに何かございますでしょうか。

(藤澤委員)

経済同友会の藤澤でございます。私は、感想的な話です。今回のパブリックコメント、詳細版も送っていただいたので全部読ませていただきました。43名の方からの意見が、この1か月で多いのか別としまして、大変関心の高さと熱い想いというものが表現されたという感じでございます。

内容的には、この概要にまとめられていただいたような形になっております。見ると、私は第3回的时候に、これは同友会の総意ではないということで、シンボリックなもの、いわゆるモニュメント的なものがあったらいいのではないかという声が側聞されますというようなお話をしたかと思うのです。そのときに、今日はお出ででいらっしやいませんけれども、造形大の上山委員が大事なことはコンセプトですと。いわゆるランドスケープを取り込んだような環境に配慮したような広場づくりといったものが大事で、そのコンセプトが大事なのだということで、私もある種首肯ができる部分があったので、それ以上の意見は申し上げなかったのですけれども、実際にパブリックコメントを見ますと、やはりシンボリックなものというものでオブジェだとかランドマークという言葉も出てまいります。そういった希望が大きいのだということに改めて感じました。また、ペDESTリアンデッキについても、ある種、悪天候とか眺望とかを考えたときに、また今後の拡張というものを臨む声もありました。また、シェルターについても同様でございます。デザイン性よりも機能性だというふうなご意見もあったということです。こういった、熱いご意見に対しては、ぜひ真摯に耳を傾けてさらに検討するというコメントも市からつけていただいておりますのでぜひ、そういった意見には財源的な面とか時間的な面とかありますけれども、これは本当に1、2年で更改されるものではありません。何十年もまたこの形でいくわけですから、ぜひ将来に禍根を残さないような立派なものを作っていただきたいという気持ちを一市民という目線で申し上げておきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(委員長)

貴重なご意見をありがとうございました。何か、事務局からありますか。

(事務局)

参事加藤でございます。この会の第1回の委員会から上山先生のご意見等を踏まえて、当初のプロポーザルでも最終案では大きなモニュメンタルなものは作っていないという流れをずっと組んでおりますので、それを踏襲させていただいて現在の案に至っているわけですが、おっしゃるようにそういったものを求める声が多く、いろいろなところから出ていることを承知しております。どんな形になるのか分かりませんが、この広場全体が

モニュメンタルなものになるか、あるいはシンボリックなモニュメントを別に作る必要があるのかといったことについては前者の、全体でモニュメンタルなものになり、またいろいろなところで、例えば最近言いますインスタ映えといいますか、写真に撮って映えるような形で観光客の方や市民の方がそういった目的でも訪れていただけるようなそんな工夫をさらにしてまいりたいと思いますので、もう少々これから基本設計の若干見直しの部分と詳細設計がございまして、そこで検討を進めてまいりたいと思っています。

(委員長)

ありがとうございます。よろしく願いいたします。

(事務局)

パブリックコメントが多いか、少ないかという話がありますけれども、これは非常に多いです。ほかのところかというと1人、2人、数件の意見が多い中で、やはり43人、177件というのは非常に多いと思います。関心を持っていただいているというふうに私どもも思っております。

(藤澤委員)

もう一ついいですか。モニュメンタルというか、シンボリックなものはいわゆる城下町を擁する駅によくある武将の像とかそういうイメージではなくて、例えば、金沢駅の鼓門であるとか銀の鈴であるとかそういったものが陳腐化して古いものに見えるのかといったらそうではないと思うのです。そういった意味で、例えば県外からの方が新潟駅に降り立ったときに印象づけられるようなシンボリックなものという意味で私は申し上げているので、その辺はご理解いただければということでございます。

(事務局)

例えば、新潟日報の窓欄には北前船なんていう意見も載ったことを私も承知しております。そんなものが実際に、今、武将の像とおっしゃいましたけれども、やはり新しいものを作っていきますので、今まで過去になかったようなどこかの公園の一角に建っていた、例えば白山公園の楠本正隆さんみたいなものを作る気は毛頭ございません。もし、例えば、その北前船といったようなものが検討に値するとなれば、斬新なデザインでということにもなるかと思えます。まだその辺は決まっておられませんけれども、また進み具合の中で皆さんにご意見を伺う必要があれば、ぜひ伺ってまいりたいと思いますのでよろしく願いいたします。

(橋本委員)

私も、このプランが変わってきた中で、すごく魅力的な空間になってきたと思うのですが、パブリックコメントを求めると、どうしてもマイナスの意見が多くなってきますよね。そこら辺でプラスの意見というものはなかったのでしょうか。

(事務局)

数件ですけれども、いいデザインだという評価のものもありました。やはり、どうしてもご意見は批判的なものとか、自分の意見をおっしゃりたい方はどうしてもマイナスのイメージのものが多くなるのですけれども、中には良く言うものもございます。

(橋本委員)

あと、緑が中心となってモニュメンタル性を出すということは決して悪いことではなくて、未来のまちづくりというのはこういう形であるべきかとは思いますが、そこに対して、未来に投資するという。生き物を扱いますので。造形物であれば、朽ちたらまた作ればいい。けれども、緑の場合は育てていかななくてはいけないので、そこら辺の夢が市民に伝われば緑の里山を今後、育てていく。ただ、市役所としても、その覚悟と決心がないとまずいことで、パブリックコメントの回答にもメンテナンス、ここら辺のコスト削減と簡単にうたいますが、未来の投資で植栽を育てていくということはさらなる覚悟と決心と投資が必要なのかと思います。あと、仕組みです。何か寄付を募るとか。特に新潟市は緑が少ないので、こういう駅前広場にシンボリックな森が出現できるなんていうのは未来の駅前広場ではないかと私自身は感じています。

(事務局)

ありがとうございます。まさに、おっしゃるとおり維持管理は毎年、毎年かかって、かなり長い期間にわたってするものだと思っておりますが、お金の問題だけではなくて、今おっしゃっていただいたように仕組みとして、例えばですけれども、市民の方から植栽にかかわっていただく。市議会の環境建設委員会においても、例えばですけれども、某秋葉区の委員から子どもたちに花を植えさせたいというようなご意見がありました。すぐ、そのままそれを採用するかどうかは分かりませんが、広場全体の様々なイベントも含めたエリアマネジメントも多分これから検討していくことになると思いますが、その中で、例えば、子どもたちに花を植えていただく。毎日来る必要はないですけれどもときどき水をやって、そういった活動に参画していただくというようなこととか、あるいは学生ですとか市民の方からかかわっていただけるような仕組みづくり。それがこれからの検討になると思っておりますので、なるべく経費をかけずにということが先に出てしまいますとあまりよろしくないのですけれども、そういった仕組みの中で長く維持できるような形にしていければと思っております。

(委員長)

ありがとうございます。順番も多分大事で、コストが最初に出るのではなくて、あとで。2番目のエリアマネジメントを少し厚くして書いてあるとだいぶ印象も違うかと思っております。

で、よろしく願いいたします。

ほかに、なにかございますでしょうか。

(平山委員)

整備のイメージスケッチのパースを見ながら、資料2の意見に対する市の考え方をもう一度再確認させていただきたいです。新潟らしさのイメージを絵にするとこのイメージスケッチだということでしょうけれども、シェルター等の材質とか風雪に対するものがすごく不安に思うものですから、その点についてがあまりに絵に描いた餅になることが心配です。具体的な想定としてどういう材質とか雨を、滴が外に全部落ちるようでは本当に歩行者に何もならないわけです。その辺についての、晴れた日のイメージではなくて、風の強い日のイメージとしてどう考えていらっしゃるのか教えていただけますか。

(事務局)

ありがとうございます。イメージスケッチでは、今おっしゃったようなディテールの部分については全く分からないようなことになっております。材質についても単なる青い色が塗ってある程度にしか見えません。現在、いくつかの材質を検討しておりますが、これまた詳細設計等の中できちんと決めていくことになると思います。大きな方針としては、光の透過性のあるものでガラス、ポリカーボネート、あるいは膜構造といったようなものも採用可能かと思っておりますが、それらを今おっしゃったような雨、風、それから新潟の場合は積雪というものも全く考慮しないわけにはいかないと思います。また、パブリックコメントの中でも、落ち葉はどうするのだということもあります。そういったところも含めて、現在きちんと固まっていないということが今の実態でございますが、これから駅をご利用なされる方がこの下において、先ほどの南口の話ではないですけれども、雨に当たったとか、あるいは、透過性があるのはいいのですけれども落ち葉がたまって見えにくくなっている、汚れているということがないような、維持管理も含めたところをきちんと検討してまいりたいと思います。今のところは、そういった問題も重々承知のうえで書いておりますので、解決できるものと思っております。平山先生も建築ご専門でいらっしゃるのですから、また、もしかしたらそんなところでご意見等アドバイスをいただけるとありがたいと思っております。よろしく願いします。

(委員長)

ありがとうございました。

(中村委員)

いただいている資料の中にはないのですけれども、防災についても、広場ではご検討されているかとは思いますが、教えていただくことができればと思います。

(事務局)

防災といいますと、避難所みたいな形ですか。

(中村委員)

どういう仕組みや仕掛けをお考えで、落としてあるのかと。

(事務局)

広場もそうですけれども、今は避難所ではないのですけれども、防災機能として今、私どもと新潟国道事務所でバスタ事業を計画しております、そちらに帰宅困難者とかそういう方を受け入れるようなことも考えています。万代広場に避難所というところまで考えていないという状況です。同じような所に複数作っても無駄になりますので。今、新潟国道事務所と協力しながらバスタ事業と併せて計画をしておりますので、そちらでできるかと考えております。

(中村委員)

やはり、そういうときでもバリアフリーとかユニバーサルデザインの形での誘導なり避難ができるようにそこは作り込みが必要となると思いますので、どうぞご検討ください。

(事務局)

その事につきましてもご意見をたくさんいただいておりますので、分かりやすいバリアフリーも考えたサインを含めてやっていきたいと思っています。

(委員長)

貴重なご意見をありがとうございました。

(柘津委員)

7月に、新潟国道事務所長を拝命しました柘津でございます。よろしく願いいたします。私は7月にまいりましたので、初めての新潟。外から来たイメージを含めて申し上げさせていただきます。いただければと思います。

私は、マラソンをやっている状態で、過去に新潟シティマラソンに3回出ているのですけれども、そのときの印象は、政令市である中で、まちの中心に信濃川があって、ゴール前の陸上競技場になだれ込む途中に見た信濃川のやすらぎ堤の景色と、その前に至る日本海側のコースの海、川といった自然の美、萬代橋等の公共構造物と自然の調和が取れたこの空間がまちの真ん中にある。こういう都市はなかなかないと私は思いまして、10月の新潟シティマラソンのリピーターとして結果的には3回出たという経緯があります。

そういったところの事務所長を拝命したことが非常に私は光栄だと思っております、そういった過去の私の思いも含めてこれを拝見させていただくと、非常にそれが凝縮されているようなプランだと私は感じました。新潟の駅の窓口というところから入ってきて、今申し

上げたような自然と公共構造物の公共空間の調和の取れた入口、ここから我々の管理します国道ですとか、河川が管理します信濃川ですとかそういったところに続いていくという意味では、非常にそういった連続性のある駅前かなというふうに感じております。

今、事務局からもありましたけれども、われわれは当事者でもありますので、バスタ事業を今年度始めさせていただいています。先ほどの、防災の面もございしますが、これからどういった形でバスタを計画していくかということは、いろいろな方のご意見をいただきながら検討してまいりたいと思います。

のちほどお時間いただけるということで、詳細は割愛いたしますが、道路行政も変わってきておりまして、今まで自動車交通そのものを中心に道路行政は進んできたのですが、先の国会で道路法を改正いたしまして、いわゆる人中心の道路空間へという概念が入ってきています。具体的には歩く人とか自転車ですとか、またはマラソンやランニングをする人とかそういった人にも住み心地のいい道路空間に再編していこうという考え方がちょうど今、転機になってございます。そういったことも踏まえながら、駅周辺の整備と、その先に続く国道筋をしっかりとわれわれは連携を取りながらやっていきたいと思っております。意見というよりは、誓いに近いのですけれども、何卒よろしく願いいたします。

(委員長)

ありがとうございました。また、のちほどよろしく願いいたします。ほかに何かございますでしょうか。

(阿部委員)

先ほど質問だけだったのですけれども、今度は意見としてです。ここまで大体、ある種ハード的なところがほぼ固まると思っておりますので、これからは機能を含めたソフトのところだと思っております。中村さんも防災施設うんぬんという話がありましたし、ユニバーサルデザインの話もありましたので、ぜひ、これから具体的なところに行くときにつきましては日本一のユニバーサルデザインを考慮したハードと、先ほど情報、サイン関係の話も要望があったと思っております。ハードのユニバーサルデザインとソフトのユニバーサルデザインの両方を盛り込んで、日本一のユニバーサルデザインを考えた最先端の新潟駅周辺万代広場みたいな形でぜひ進めていただければ、コロナが収まったあと日本中から視察が新潟にどっと来て、泊まっていたいただいて、飲んでいただいて、食べていただいて、おみやげを買っていただくという交流人口増にもつながりますということ。

もう一つ。のちのちイベント関係うんぬんというものがありますので、後付けのイベント関係の準備の施設ではなくて、ある程度想定した電源の問題ですとか配信の問題ですとか様々なイベント関係のものがあると思っておりますので、事前に準備できるものにつきましてはこ

れからどんどん進めていただきたいと思います。

あと、先ほど、藤澤さんからシンボリックなんてことがあったのですが、渋谷駅で待ち合わせをするときにハチ公の前というくらいの、金沢の鼓門みたいにならないと思うのですが、ちょっとしたものでも。佐野藤三郎さんの銅像を建てるとは言いませんけれども、何かしらちょっとして待ち合わせはここというものがあると、それはそれで便利かと思えます。

最後に、万代広場だけだとつまらないので、将来的に愛称というのですか。何とか広場みたいなものを一般市民の方から公募すると結構ユニークなものが出て、周り含めて盛り上がるかもしれないよだということがあるので、その辺の、いわゆるソフトのところをぜひいろいろ検討していただければと思いますので、よろしくお願いします。

(委員長)

ありがとうございました。何かございますか。

(事務局)

ありがとうございます。ソフト、ハード含めて、例えば最初にお話いただいたユニバーサルの部分といったもの、あるいはイベントの部分、かなり実際にお使いになる、例えば障がい者の方ですとか、あるいはイベント関係のお仕事をされている方ですとか、こういったところからかなり詳細な聴き取りをして、ハードにも生かしソフトでしっかりと使っていくという仕組みにしていかなければならないと思っています。例えば、ユニバーサルの部分というのは、本当に細かいところまで気を遣ってやらないとほんのちょっとした使いにくさが、あとで全く使えないということになってくる面があるかと思えますので、そこら辺は少し時間をかけて、しっかりといろいろなご意見を聞きながら生かしていきたいと思っております。それから、待合の場所ですとかネーミング、愛称が問題ですが、ぜひやはり新潟駅の、私どももこの広場の形態を考えるにあたって、ぜひいろいろな方から何もなくてもまずは来ていただきたい。それから待ち合わせの場所にしていただきたいというようなことで、単なる通勤、通学の通過の場ではよろしくないという認識を持っておりますので、ぜひ何かしら新潟駅の、万代広場になるか別の愛称になるか分かりませんが、ここで待ち合わせしましょうということができるようなことを考えていきますので、いいアイデア等あったら、ぜひお寄せください。

ただ、今、愛称と言っていたので大変助かるのですが、万代広場という、万代口という名前が既に定着をしている中で、これを全部そっくり最初から変えるということはかなり負の反響が多いのではないかと思います。愛称というレベルであれば、これは比較的小おもしろいもの、斬新なものを皆さんから寄せていただける可能性もございますので、検

討させていただきたいと思います。ありがとうございました。

(委員長)

ありがとうございました。駅と駅前広場の十分打ち合わせするなり、あとはバスとかいろいろ事業者ありますので、その辺も分かっておられているかと思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。

(中村委員)

確認させてください。自転車についてですけれども、広場内は押しチャリで、そのあとはどのようなのですか。

(事務局)

広場内だと駅とかのバスターミナル、ここは 24 時間歩くこともできますので、押しチャリであれば大丈夫です。あとは、道路に出れば乗っていただいても大丈夫ですけれども、広場内は押しチャリになります。今の西側連絡通路も押しチャリで、当初はだいぶ乗っておられる方が多かったですけれども、今はだいぶ、押しチャリは定着していますので、放送などもやっていかなければならない、皆さんに周知していかななくてはならないと思っております。

(中村委員)

富山駅をバリアフリーの関係で視察に行ったときに、駅の構内にも押しチャリでお願いしますということがかなり貼ってあったので、やはりそれをしないでも済むような形でも周知が必要になるかと思ひます。

(委員長)

ありがとうございました。ほかに何かございますでしょうか。ないようですので次、(3)今後の進め方について、事務局よりご説明お願ひします。

(事務局)

議事(3)今後の進め方についてになります。資料3をご覧ください。本日、第7回検討委員会を開催させていただきました。今後になります、9月末にパブリックコメントの実施結果の公表を予定しております。また、同じくらいの時期に万代広場の電気設備ですとか、旧配線設備などインフラ関係の検討委託の契約も同時期を予定しております。これにつきましては、駅直下のバスターミナルと接続する部分もありますので、実施設計より先行して契約を予定しているものでございます。その後、10月に万代広場の実施設計業務の契約を予定しています。なお、実施設計業務につきましては、来年9月までの工期を予定していることから、来年3月頃に、第8回目の検討委員会を開催させていただきまして、中間取りまとめ事項を確認させていただきたいと考えております。その後、来年9月に委託業務の工期の

頃に第9回を再び開催させていただきまして、最終取りまとめの報告をさせていただきたいと考えております。

(委員長)

ありがとうございました。ただいまのご説明に関して、ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

次、その他について、事務局よりご説明をお願いいたします。

(事務局)

その他ということで、新潟国道事務所長の柘津委員より、国土交通省が作成いたしました道路政策ビジョンにつきましてご紹介をいただきます。柘津委員、よろしくお願いたします。

(柘津委員)

お時間いただきありがとうございます。こちらをご覧くださいと思います。こちらの資料はオールジャパンのものでございます。

私は、7月に赴任してくる前は本省の道路局で働かせていただいております。そこで、2040年、道路の景色が変わるということで、いわゆる道路政策のビジョンを作ろうという中、私は実は高速道路課というところにいたのですが、先ほどの人中心のパートの担当をしております、そういう志ある人間で集まって将来像のビジョンを語る、まとめようということを、まさに去年の春くらいに始めました。私は今年41歳で、2040年がちょうど60歳なものですから、しっかり私たちが責任を取れるようにということで2040年というところをターゲットに、どういった景色を作るのが道路行政として今後あるかといったことを議論してきましたので、基本的にわれわれ世代がまとめたものでございます。

やはり、こういったビジョンを作っていく過程の中でいろいろな方、幹部の方にもご指導をいただきまして、これは結果的には大臣とともに発表するというので、今年の6月18日に赤羽国土交通大臣と池田道路局長と、筑波大学の名誉教授の石田先生と一緒に公表させていただいたといったものでございます。

先ほど申し上げましたけれども、何が肝かと申し上げますと、今まで道路法、道路行政は基本的には自動車交通が中心となっております。今後、社会として成熟したまちにしていくなめには、本当にそういった道路空間でいいのかといったところを、もう一回議論し直しまして、自動車交通の議論だけではなくて、そもそも幸せにできる道路空間を作ろうということで、これを議論しました。

そういった中で、法律も改正しようという話になりまして、先ほど申し上げましたように、先の国会で歩行者利便増進道路というすごく堅い名前ですけれども、いわゆる人中心の道路

空間を創出するために、例えば道路占用の基準を緩和するとか、または歩行者が滞留できる空間へといった観点を道路法に入れてございます。

そういった背景の中で、詳細のご説明は避けませんが、3ページを見ていただきますと、どちらかというとまちづくり系の写真ですが、これは道路局の資料です。基本的にはこういった観点も道路空間に入れていこうというコンセプトで、これはどう人々の生活を幸せにするかといったことを追及しようではないかということで、まとめさせていただきました。今後、自動運転ですとかそういったものの活用もしながら、道路空間というのは様々なポテンシャルがあるのではないかと我々も思っていますし、それを2040年に実現すべくやっていきたいと考えております。

23ページをご覧ください。詳細な説明は割愛いたしますが、23ページだけご覧いただければと思いますが、これは世界に選ばれる都市ということで記載させていただきました。上の写真は、いわゆるバスタでございます。交通結節点をこのように整備いたしまして、Mass Sですとか自動運転とかそういった、いわゆる多様な交通モードを主役にした都市交通ターミナルをということで、バスタをイメージしたようなものでございます。下は、それによって様々なレーンマネジメントがあるのではないかとこの絵を描かせていただいているのです。

私は新潟国道事務所で働くことになりまして、ふと思いつかべますと、今こうやって駅周辺の整備をしているということ、我々はバスタの整備を始めたということ、それから我々は幹線道路整備としては万代島ルート整備を今、してございます。そうしますと、万代島ルートが、いわゆる通過交通はそちらのほうに流すことによって例えば古町に、東大通交差点とかに行かなくて通れるような通過交通のルートができるのではないかとこのように、期待が持たれています。

そういったことも踏まえまして、将来像として私は上の絵は新潟駅前、下の絵は東大通交差点付近をイメージしてしまいます。今の道路空間を再編するといったことも期待できるのかとも思っております。今回こういった検討会の中でご紹介させていただきました。今回、万代広場のところで検討委員会がございますが、その先に続く国道を我々は管理してございますので、こういった全体の面で捉えながらいろいろなところを連携しながら、もちろんこういったところではできることとできないことがあると思うのですが、いろんなところでご意見をいただきながら、よりよい道路行政のみならず、よりよい地域づくりに貢献できればと考えておりますので、今回こういったことを参考までに情報提供をさせていただきました。お時間いただきましてありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。その他、事務局からですが、先ほどもご説明いたしましたが、次回の委員会は3月頃を目途に開催したいと考えております。開催時期が近づきましたら、日程調整のご連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、本日いただきましたご意見を踏まえまして、パブリックコメントの結果および整備計画案を修正して公表するとともに、今後の詳細の設計の参考とさせていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(委員長)

ありがとうございました。最後に全体を通して、ご質問やご意見等ございますでしょうか。

(新潟県交通政策局長)

オブザーバーでもよろしいですか。

(委員長)

お願いします。

(新潟県交通政策局長)

新潟県の交通政策局でございます。イメージを固めていただき、素晴らしいものになっていると思います。大体2年くらいですか、対面の会議は間が空いていると思うのですが、その中で一番大きな変化として、新潟港の開港150周年という大きな節目があると思います。事業も関係の皆さんと長い期間、大きなお金をかけてやってきているので、ぜひ万代広場からまちへのつながりという中で港というものを、例えば港や水辺のほうへ誘うルートをより充実させていただければよろしいのではないかと考えておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。私どもは、別途、万代島の賑わいづくりという中で検討も行っておりますけれども、新潟駅との連携という中でそういったルートの充実は必要だと思っております。お互いに頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

また、案内について、パブリックコメントにも出ております。これは、私ども広域交通の観点から再三にわたって申し上げてきたとおりで、このコメントのとおりご対応されているので、このとおりでよろしいと思います。やはり移動する皆さんにとって、特に新潟駅は、様々な高速交通体系、あるいは地域交通の結節点でございますので、そこから先に行く方が円滑な動線で分かりやすい動きになりますように、案内の充実について、ご配慮をいただければと思っております。空港リムジンについてもよろしくお願いいたします。

先ほど、加藤参事からもお話がございましたように、駅あるいは広場そのものが集って楽しい場所でありますように、特に新潟は冬閉ざされる場面が多くなってございますので、そういうところで時間をつぶして退屈ではない、そういったものになればよいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(委員長)

貴重な意見をありがとうございました。ほかに何かございますでしょうか。ないようでしたら、議事を終了いたします。進行を事務局にお返しいたします。

(事務局)

長時間にわたりご議論いただきましてありがとうございました。以上をもちまして、第7回新潟駅万代広場等整備検討委員会を終了させていただきます。本日は大変ありがとうございました。